

dji MIC MINI 2

ユーザーマニュアル

v1.0 2026.04





本書は、DJI の著作物であり、すべての権利は DJI に帰属します。DJI から別途許可されていない限り、本書の複製、譲渡、販売を行ったり、本書または本書の一部を使用、または他の人に使用を許可したりすることはできません。ユーザーは、本書とその内容を DJI 製品の操作に関する指示を参照する目的にのみ使用してください。本書を他の目的で使用しないでください。言語版によって相違がある場合には、英語版が優先されます。

キーワードの検索

「バッテリー」や「取り付け」などのキーワードを検索することでトピックを探すことができます。Adobe Acrobat Reader を使用して本書をお読みの場合、Windows では Ctrl+F、Mac では Command+F を押して検索を開始できます。

任意のトピックに移動

目次の全トピック一覧が表示されます。トピックをクリックすると、そのセクションに移動します。


本書を印刷する

本書は高解像度印刷に対応しています。

本マニュアルの使用方法

凡例

 重要

 ヒントとコツ

 参考

ご使用前にお読みください

DJI™は、チュートリアルビデオと次のドキュメントをご用意しています。

1. 『安全ガイドライン』
2. 『クイックスタートガイド』
3. 『ユーザーマニュアル』

すべてのチュートリアルビデオの視聴をお勧めします。初回使用前に、『安全に関するガイドライン』をお読みください。初めて使用する前に、必ず『クイックスタートガイド』を確認し、詳細について『ユーザーマニュアル』を参照してください。

目次

本マニュアルの使用方法	3
凡例	3
ご使用前にお読みください	3
1 製品の特徴	6
1.1 トランスミッター	6
1.2 レシーバー	7
1.3 充電ケース	9
2 使用	12
2.1 ウィンドスクリーン（風防）の取り付け	12
2.2 マグネティック前方カバー	12
2.3 トランスミッターの装着	13
2.4 トランスミッターとレシーバーのリンク	13
充電ケースを使用したリンク	13
手作業でのリンク	14
2.5 スマートフォンとの併用	15
2.6 カメラとの併用	16
2.7 パソコンとの併用	17
2.8 OsmoAudio 撮影機器にトランスミッターを直接接続する	17
2.9 ストレージ	18
2.10 充電中	18
3 ファームウェア更新およびパラメーター調整	21
3.1 DJI Mimo アプリへの接続	21
アダプター経由で接続	21
Bluetooth 経由で接続	21
3.2 パラメーターの調整	22
3.3 ファームウェアの更新	22
4 付録	24
4.1 アフターサービス情報	24

製品の特徴

1 製品の特徴

- 💡 モバイルレシーバーの使用方法については、<https://www.dji.com/downloads/products/mic-mini-2#doc> で、DJI Mic シリーズ モバイルレシーバーのユーザーマニュアルを参照してください。

1.1 トランスミッター



1. ノイズキャンセリング LED

黄色点灯：ノイズキャンセリング有効

LED 消灯：ノイズキャンセリング無効

2. システムステータス LED

バッテリー残量

🔴 — 赤色点灯 10%以下

🟢 — 緑色 / 青色点灯^[1] 10%超

リンク / 接続ステータス

🟢 — 緑色点灯 レシーバーとリンクされました







🟢 …… ゆっくりした緑色点滅 リンクされたレシーバーがありません

🟡 — 青色点灯 Bluetooth 機器 / モバイルレシーバーに接続しています

🟡 …… ゆっくりした青色点滅 Bluetooth 機器が接続されていません

🟡🟢 …… 青色と緑色に交互に点滅 リンク中 / 接続中

充電中のバッテリー残量^[2]

	ゆっくりした緑色 / 青色点滅	0~25%
 × 2	緑色 / 青色に 2 回点滅	26%~50%
 × 3	緑色 / 青色に 3 回点滅	51~75%
 × 4	緑色 / 青色に 4 回点滅	76%~100%
 ○	オフ	充電完了 ^[2]
その他のステータス		
 —	黄色点灯	ファームウェア更新中

[1] ライトの色は、無線作業モードによって異なります。緑色のライトを例とします。

[2] 充電が完了すると、LED が 1 分間点灯し、その後消灯します。

3. リンクボタン

2 秒間長押しすると、リンクが開始されます。

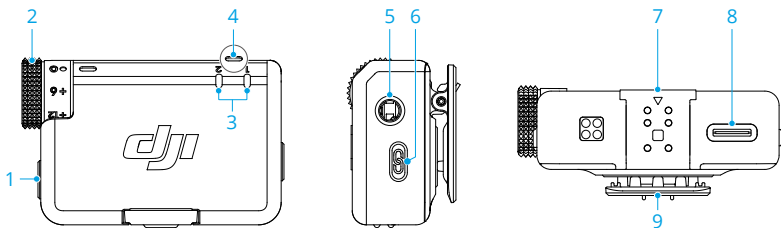
マイクを DJI 撮影機材に接続した後、押すと、動画の撮影を開始または停止します。

4. 電源ボタン

2 秒間長押しすると、電源がオン/オフになります。

2 回押しと、ノイズキャンセリングが有効または無効になります。

1.2 レシーバー








1. 電源ボタン

2 秒間長押しすると、電源がオン/オフになります。













2. ダイヤル

回転させて、レシーバーの音量を調整します。

3. トランスミッターステータス LED

バッテリー残量		
 —	赤色点灯	0~10%
 —	緑色点灯	10%超
ステータス		
	オフ	リンクされたレシーバーがありません
	緑色にすばやく点滅	リンク中/接続中
 —	黄色点灯	ノイズキャンセリング有効

4. レシーバーステータス LED

バッテリー残量		
 —	赤色点灯	0~10%
チャンネル		
 —	緑色点灯	モノラル/セーフティトラック
 —	水色点灯	ステレオ
	ゆっくりと緑色/水色点滅 ^[1]	音声録音機器がリンクされていません
Bluetooth 接続		
 —	青色点灯	Bluetooth 機器に接続しています
	ゆっくりした青色点滅	Bluetooth 機器が接続されていません
充電中のバッテリー残量		
	ゆっくりした緑色点滅	0~25%
 × 2	緑色に 2 回点滅	26%~50%
 × 3	緑色に 3 回点滅	51~75%
 × 4	緑色に 4 回点滅	76%~100%
	オフ	フル充電完了
ファームウェアの更新		
 —	黄色点灯	ファームウェア更新中

[1] ライトの色は、無線作業モードによって異なります。緑色のライトを例とします。

5. 3.5 mm 音声出力ジャック

カメラへの音声出力用です。

6. リンクボタン

2秒間長押しすると、リンクが開始されます。2回押しすと、モノラルとステレオが切り替わります。

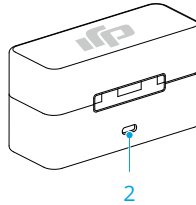
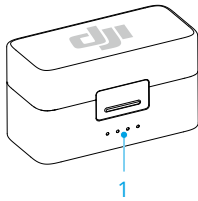
7. 拡張ポート

スマートフォンアダプターとの接続に使用します。

8. データポート (USB-C)

9. クリップ

1.3 充電ケース



1. バッテリー残量 LED

- LED 点灯
- ◐ LED 点滅
- LED 消灯

充電中のバッテリー残量 (LED が順番に点滅)

● ● ● ● ●	76~99%
● ● ● ● ○	51~75%
● ● ○ ○ ○	26%~50%
● ○ ○ ○ ○	25%以下
○ ○ ○ ○ ○	フル充電完了

バッテリー残量

● ● ● ● ●	76%~100%
● ● ● ● ○	51~75%
● ● ○ ○ ○	26%~50%
● ○ ○ ○ ○	10%~25%
◐ ○ ○ ○ ○	10%未満

2. 充電ポート (USB-C)

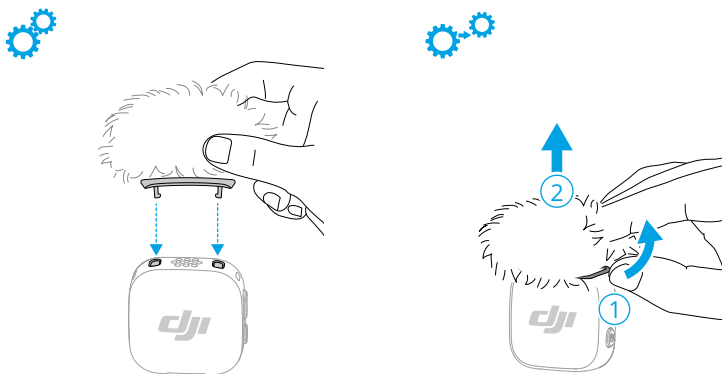
- 💡 • バッテリーを良好な状態に保つために、少なくとも 3 カ月に 1 回はバッテリーを完全に充電してください。バッテリーを長期間使用しないと、バッテリーの性能に影響が出たり、バッテリーが永久的な損傷を引き起こす場合があります。
-

使用

2 使用

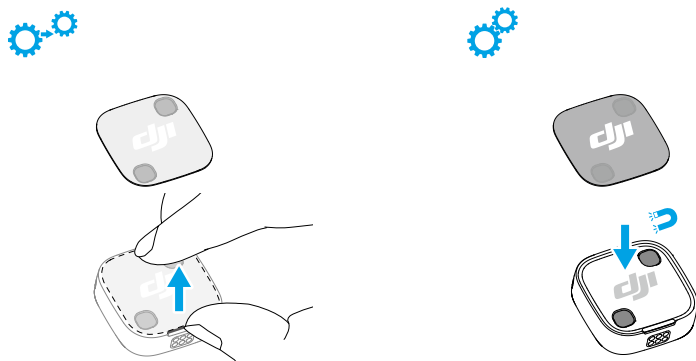
2.1 ウィンドスクリーン（風防）の取り付け

屋外や風の強い環境では、ウィンドスクリーン（風防）を使用することで、風切り音を軽減し、音質を向上させます。



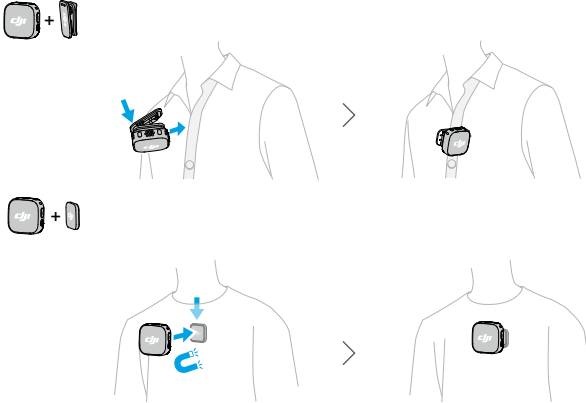
2.2 マグネティック前方カバー

前方カバーはマグネットで取り付けられており、スタイルを変えたいときに交換できます。



2.3 トランスミッターの装着

トランスミッターは、クリップや磁石を使って衣服に取り付けたり、磁石を使って安定した表面に配置したりすることができます。



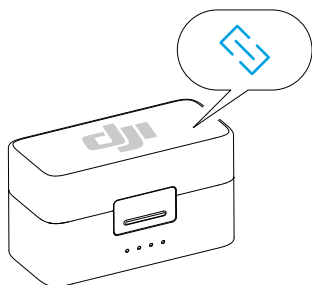
2.4 トランスミッターとレシーバーのリンク

初回使用前に、[ファームウェアの更新](#)を参照して、デバイスを最新のファームウェアバージョンにアップデートしてください。コンボのトランスミッターとレシーバーは、デフォルトでリンク済みです。トランスミッターとレシーバーのリンクが解除された場合は、以下の手順に従ってリンクしてください。

充電ケースを使用したリンク

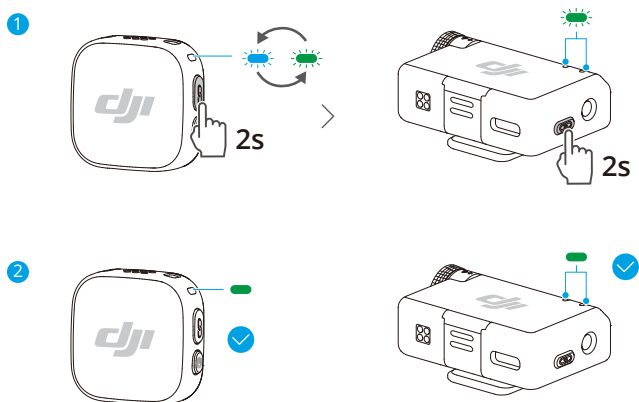
トランスミッターとレシーバーを充電ケースに入れると、自動でリンクします。

- 💡 トランスミッターのシステムステータス LED が青色の場合、トランスミッターを充電ケースに入れる前に、リンクボタンを 2 回押すと、緑色に変わります。



手作業でのリンク

1. システムステータス LED が青色と緑色に交互に点滅するまで、トランスミッターのリンクボタンを 2 秒間長押しします。
2. レシーバーのリンクボタンを 2 秒間長押しします。すると、レシーバー前面のトランスミッターステータス LED が緑色に高速点滅し、機器がリンク状態にあることを示します。リンクに成功すると、ステータス LED が緑色に点灯します



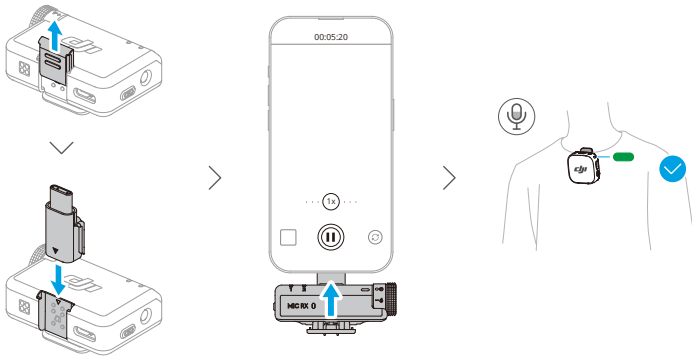
💡 レシーバーは、最大 2 台までの DJI Mic Mini または DJI Mic Mini 2 のトランスミッターと、あらゆる組み合わせでリンクできます。

2.5 スマートフォンとの併用

アダプターを介してスマートフォンにレシーバーを取り付ける

レシーバーをアダプターを使ってスマートフォンに取り付け、トランスミッターをカラーにクリップまたはマグネットで取り付けます。スマートフォンはトランスミッターを通じて音声をキャプチャできます。

- 💡 • トランスミッターのリンクボタンを押すと、録画を開始および停止させることができます。（音量ボタンをシャッターコントロールとして使用するアプリのみ）
- 長時間の撮影やライブ配信には、レシーバーをスマートフォンに取り付けるため、アダプターの使用をお勧めします。取り付け後、充電ケーブルを使ってレシーバーを充電すると、同時にスマートフォンも充電できます。
- Lightning アダプターは別売りです。



Bluetooth 経由でスマートフォンにトランスミッターを接続する

1. トランスミッターの電源がオンになっているときに、システムステータス LED が青色と緑色に交互に点滅するまで、トランスミッターのリンクボタンを 2 秒間長押しします。
2. スマートフォンの Bluetooth を有効にして、検索された Bluetooth 機器の中からマイクの名前を選択して接続します。トランスミッターのステータス LED が青色に点灯すると、接続は成功です。

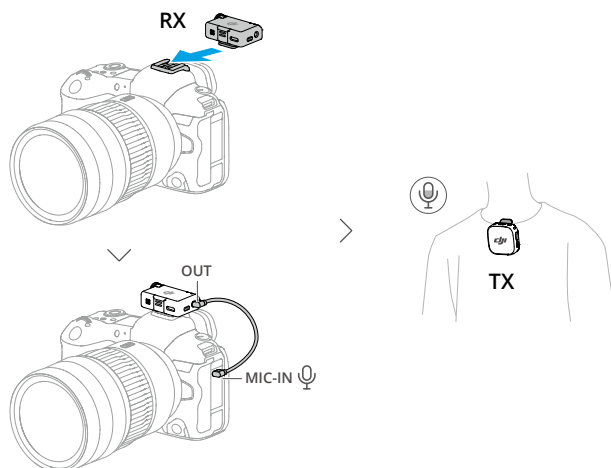
トランスミッターは音声入力機器として機能し、サードパーティ製の録音アプリケーションやライブ配信アプリケーションで使用することができます。



2.6 カメラとの併用

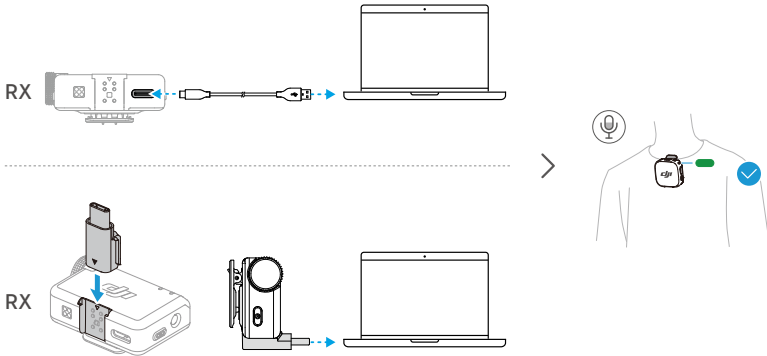
クリップを使ってレシーバーをカメラに取り付け、音声ケーブルを接続します。トランスミッターは、カメラの音声を取り込むことができますようになります。

- 取り付けと接続が完了したら、<https://www.dji.com/downloads/products/mic-mini-2#doc>にアクセスし、「カメラ設定の推奨ゲインに関する手順」を参照して、音声のクリッピングを防ぐため、カメラのゲインを下げてください。
- カメラのゲインを調整した後、より良い音質を得るために、レシーバーのゲインを上げることをお勧めします。



2.7 パソコンとの併用

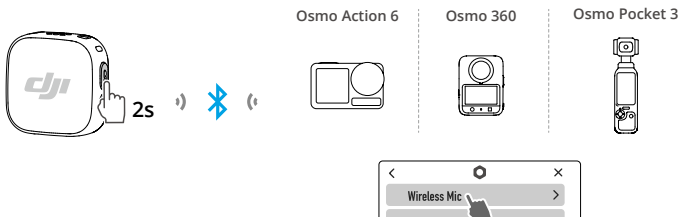
付属の充電ケーブルまたはアダプターを使用してレシーバーをパソコンに接続し、パソコンで音声入力オプションを設定します。トランスミッターを外部マイクとして使用することができますようになります。



2.8 OsmoAudio 撮影機器にトランスミッターを直接接続する

トランスミッターは、Bluetooth 経由でスマートフォンや OsmoAudio 撮影機器に接続できます。

Osmo Pocket 3 での操作を例として示します。使用する端末によってインターフェースが異なる場合があります。

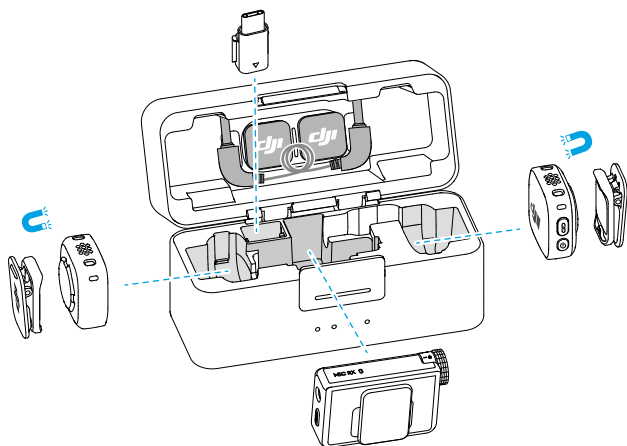


1. DJI 撮影機器のシステム設定インターフェースに進みます。**ワイヤレスマイク**をタップしてトランスミッターを追加します。トランスミッターのステータス LED が青色に点灯すると、接続は成功です。
2. トランスミッターのリンクボタンを押すと、録画を開始または停止できます。

- ワイヤレスマイクのインターフェースでスワイプダウンして、トランスミッターの音声関連パラメーターを設定します。カメラインターフェースでスワイプして、マイクのゲインとノイズキャンセリングを設定します。

💡 OsmoAudio の対応機器および機能については、<https://www.dji.com/downloads/products/mic-mini-2#doc> にアクセスし、OsmoAudio 対応リストをご確認ください。

2.9 ストレージ

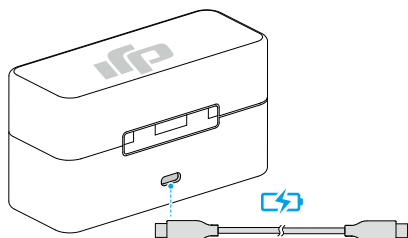


- 💡 マグネット付きの収納スロットはクリップも保持します。
- 充電ケース内でアクセサリを重ねないようにして、受信機の画面に圧力がかからないようにしてください。

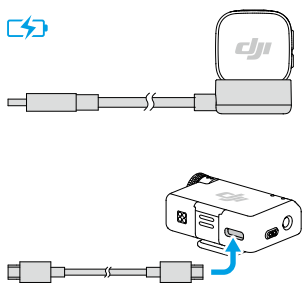
2.10 充電中

充電ケースを使用した充電

トランスミッターとレシーバーを充電ケースに入れると、自動的に充電が開始します。充電ケースの電力がなくなった場合は、付属の USB-C ケーブルを使用してケースを充電してください。充電ケースから取り外すと、トランスミッターとレシーバーの電源が自動的に入ります。



充電ケースを使用しない充電



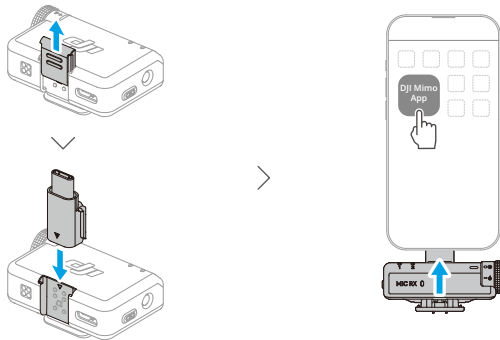
ファームウェア更新 およびパラメーター 調整

3 ファームウェア更新およびパラメーター調整

マイクを DJI Mimo アプリに接続した後、スマートフォンを使って、ファームウェアをアップデートしたり、パラメーター設定を調整したりすることができます。

3.1 DJI Mimo アプリへの接続

アダプター経由で接続



💡 • トランスミッターとレシーバーがリンクしていることを確認してください。

Bluetooth 経由で接続

トランスミッターの接続

1. Bluetooth 経由でスマートフォンにトランスミッターを接続する接続手順については、[スマートフォンとの併用](#)を参照してください。
2. DJI Mimo アプリを開くと、付近の利用可能な機器を自動的に検索します。トランスミッターが検出されたら、タップして接続します。接続に成功すると、アプリは自動的に機器設定のインターフェースに進みます。

レシーバーの接続 (iOS のみ)

1. レシーバーの電源がオフの状態、電源ボタンを 6 秒間長押しします。レシーバーのシステムステータス LED が緑色に点滅した後、青色に点滅します。これは、レシーバーの接続準備が完了したことを示しています。

2. DJI Mimo アプリを開くと、付近の利用可能な機器を自動的に検索します。レシーバーが検出されたら、タップして接続します。接続に成功すると、アプリは自動的に機器設定のインターフェースに進みます。

3.2 パラメーターの調整

DJI Mimo アプリのデバイス設定インターフェースでは、接続されたデバイスとそのバッテリー状態を表示したり、パラメーターを調整したりできます。

-
- 💡 • トランスミッターのステータス LED が無効になっている場合は、どのボタンを押しても点灯させることができます。
-

3.3 ファームウェアの更新

DJI Mimo アプリのデバイス設定インターフェースで、**[About Devices]**（**デバイスの詳細情報**）をタップすると、デバイス名、SN コード、ファームウェアバージョンが表示されます。最新のファームウェアをダウンロードしてインストールするには、ファームウェアのバージョン番号をクリックしてください。

-
- 💡 • iOS デバイスでファームウェアをアップデートする場合は、アダプターを取り外し、トランスミッターとレシーバーを別々に Bluetooth 経由で DJI Mimo アプリに接続します。
-

付録

4 付録

4.1 アフターサービス情報

アフターサービスポリシー、修理サービス、サポートについては、<https://www.dji.com/support> をご確認ください。

お問い合わせ



Wechat

DJI サポートに連絡

本内容は予告なく変更される場合があります。
最新版は下記よりダウンロードしてください



<https://www.dji.com/downloads/products/mic-mini-2#doc>

本書についてご質問がある場合は、次のアドレスまでメッセージを送信することにより、DJI までお問い合わせください。

DocSupport@dji.com

DJI は、DJI の商標です。

Copyright © 2026 DJI All Rights Reserved.